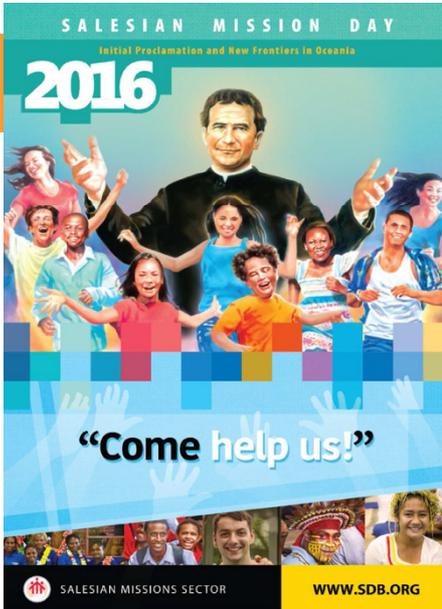




カリエロ11

サレジオ会宣教ニュース N.85 - 2016年1月

サレジオ会宣教部門によるサレジオ会共同体・サレジオ・ミッションの友人のための通信



サレジオ宣教の日2016

友

人の皆さん、

この鮮やかな色のポスターは、数え切れないほどのオセアニアの島々の、おびただしい数の若者たち、彼らの文化や伝統の豊かさを表現しています。若者たちはドン・ボスコに手を差し伸べ、来て助けてほしいと願いました。

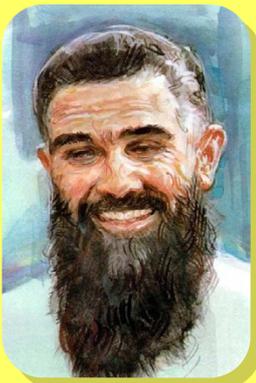
しかしこれは、ドン・ボスコの夢の中の子どもたちの叫びにとどまりません。それは今日、サレジオ会員を通してドン・ボスコが来るのを待っている、オセアニアの数多くの島々のおびただしい数の若者の叫びでもあります。それはまた、すべての人へ ad gentes、国を出て ad exteros、生涯をかけて ad vitam 宣教師として惜しみなく身をささげるよう、ほかの諸大陸のサレジオ会員に呼びかける招きでもあります。オセアニアの辺縁の地、新しいフロンティアで初めて福音を告げる働きを助けるために！

この「サレジオ宣教の日2016」は、次のことのため、とても良い機会になります：

- ◆多くの人にまだ知られていないこの地域の人々について発見し、**より良く知ること**。したがって、オセアニアの子ども・若者について**知り、愛する**とても良い機会になります。
- ◆オセアニアで、**すべての人のために ad gentes 生涯をかけて ad vitam 宣教師となる**呼びかけに心を開いて応えるようにという招きを受けとめること。カリエロ11に目を通し、さまざまな体験談を読めば、きっと多くの会員が総長に手紙を書いて、申し出たいと願うでしょう：私はここにあります！ と。
- ◆東アジア-オセアニア地域のサレジオ会共同体との連帯を育むこと。積極的に、惜しみなくSMD 2016プロジェクト：フィジーのオラトリオに参加することによって。

Viva ドン・ボスコ！

宣教顧問
ギジェルモ・バサネス神父



サレジオの宣教の聖性のあかし

サレジオ会列聖申請人 ピエル・ルイジ・カメローニ神父

インド東部の熱意あふれる宣教師、イエスのみ心への大きな信心をもっていた、**神の僕コンスタンティノ・ヴェンドラメ神父** (1893-1957) は、宣教日誌に次のように書いています：「信頼できるということは、右も左も閉ざされた道を進むこと：自分自身を全く信用しないこと、神への無限の信頼、無条件に、余すところなく。神のあわれみ深い愛に信頼できること……神を知らず、神の恵みを受けることも知らない人々ほど、必要なものに事欠き、裸な人、病を患い、飢え、渴く人はいない。」

オセアニアは サレジオ・カリスマのための肥沃な土地



私 は最近、オセアニアのいくつかの国のサレジオ会支部を訪れ、有意義な時を過ごすことができました。最初に心に浮かぶのは、私たちの愛する父ドン・ボスコの宣教の夢が実現しつつあることを知る喜びと、その確かさです！

私はこの目で、文化の豊かな多様性を見ることができました。オセアニアのサレジオ会にとって、今は実に好機です。どこでも、イエス・キリストを大胆に、確信をもって告げることが緊急に必要です。人々の心が福音に開いていることを、すぐに感じ取ることができるのです。福音を良い知らせとして喜んで受け入れることのできる自然な単純さが、人々のうちに息づいています。私たちの側は、それぞれの土地において人々の心、精神が聖霊の働きに開かれている時を尊重することがいつも必要です。大切なことは、一人ひとりの若者の心に豊かに種蒔くのを止めないことです：聖霊はご自分の時に、どのように、いつ実を結ばせるかをご存知なのです。

私たちのカリスマにとって、ここはイエスを告げ知らせるための肥沃な土地です。カリスマが実を結び、深く根を下ろす地であり、将来も、私たちがドン・ボスコと現代のオセアニアの若者に忠実であるならば、カリスマはさらに実を結び、より深く根を伸ばすでしょう。そのため、サレジオ宣教の日が、愛するサレジオ家族のうちにさらなる使徒的情熱の成長を促すものであるよう、私は心から願っています！

アンヘル・フェルナンデス・アルティメ神父

オセアニアのサレジオ会

地理的には、オセアニアはオーストラリア大陸、大小の数多くの島々、果てしなく広がる海洋から成っています。海と陸、水と地は限りなく多様な形で出会い、目を見張るような見事な荘厳さと美しさに満ちています。オセアニアは地理的に広大ですが、人口はそれに比して少なく、多くの先住民族と移民の人々から成っていますが、人口の分布は均一ではありません。言語の多様性が、島々や地域の間の大きな距離と共に要因となり、オセアニア地域の中のコミュニケーションは特に大きな挑戦となっています。オセアニアの多くの場所で、船や飛行機による移動の方が地上での移動手段よりも重要です。

サレジオ会は1922年にオーストラリアにやって来ました。二つの勇気ある取り組みが生まれたのは、オーストラリア管区からでした。その最初の取り組みによって1978年、サモアにサレジオのカリスマがもたらされ、地元のカテキスタの養成と結びついて、多くの召命が生まれました。二つめの取り組みは、1999年にフィジー諸島にサレジオ会を設立するものでした。この二つは現在、太平洋委任地区として形成される過程にあります。太平洋で最も新しい拠点は、ニュージーランドのオークランドに設立されたものです（2009年）。

その間、フィリピンのサレジオ会は1980年にパプア

ニューギニアのアライミりに困難な宣教拠点を開設し、一方、日本のサレジオ会は、同様に困難な宣教拠点を1995年にソロモン諸島のテテレに開きました。これらの国々では、大多数がキリスト教徒でありながらも、子ども・若者のための福音化と教育、また社会的発展を必要とする国民の中で、宣教活動が貧しい地域で行われています。2005年から、この二つの宣教地はパプアニューギニア・ソロモン諸島委任地区となっています。



サレジオ会カリスマを移植し、根を下ろさせ、オセアニアの若い教会の中で文化受容させるには、私たちの精神や活動を地元の諸文化のうちに忠実に表現するために、大きな忍耐が必要です。それは、それぞれの文化の立場、またドン・ボスコとサレジオ会の立場、双方への知識と愛情の求められる、大いなる挑戦です。会員たちのそれぞれの出身文化と働く場所の文化の間の対話と共に、キリストの福音をサレジオ会員として生きるあかしは、良い実りをもたらしています。人々との近しさ、若者の中に共にいること、温かく迎える友情、家庭的精神に満ちた私たちの教育・司牧のスタイル、その修道的、霊的な質が人々をひきつけ、地元の教会からも一般的に評価される理由となっていることは確かです。

(参照 最高評議会報397)



サレジオ会の宣教の意向

中東地域のおびただしい難民の中に加わる、キリスト者の難民を温かく迎え、共に歩むため、主が私たちの共同体を照らし、支えてくださいますように。

祈りのうちに愛徳の心を燃え立たせるために、明確な、祈りに満ちた意向を持つことが緊急に必要です。中東のキリスト者の難民のために関心と連帯を呼び覚まし、難民となった人々と共に、中東のキリスト者のための祈りを、ますます熱心にささげなければなりません。私たちは、中東の愛する若者たちのことが特に心かかります。若者たちのために、彼らと共に祈ります、主が若者たちの希望を強めてくださいますように。

